

Houwakai Dayori

芳和会だより

2023
Summer

8

127号

暑中お見舞い申し上げます

2023年8月1日

発行／社会医療法人芳和会 発行責任者／久保田俊平
熊本市中央区神水1丁目14-41 TEL.096-381-5887
info@howakai.jp



写真：ぼっぼ保育園

【特集】 水俣協立グループリニューアル進捗報告
【トピックス】 院長就任挨拶
【報告】 2022年度決算概要
【トピックス】 菊陽病院 2023年度 入職医師紹介
医師紹介
75歳以上の医療費窓口2割化実施後アンケート調査記者会見

【トピックス】 「いのちのとりで熊本裁判」の経過と裁判支援
第40回くまもと健康まつり
戦争を許さない努力こそ必要
【ヘルスケア】 骨の話
【エッセイ】 「子どもリスペクト」を合言葉に、歩みつづける

特集

水俣協立グループプリニユール進捗報告

水俣協立グループプリニユールプロジェクト 重岡 伸一

水俣協立グループプリニユールが前進していますので、これまでの経過と進捗状況をご報告します。

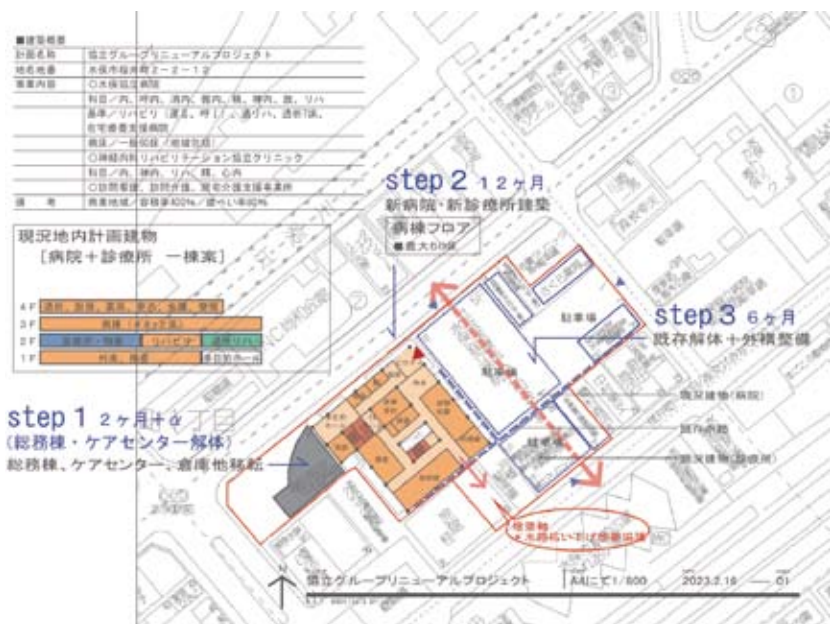
これまでに、地域の方、友の会の方などとの意見をいただく機会もあり、感謝申し上げます。現在（2023年7月時点）のスケジュールでは、2024年9月より新たな施設の着工に入り、2025年12月に新病院、新クリニック、新ケアセンターでの活動できる見通しとなっています。以下、進捗の報告とします。

1 完成予定の建物（案）

- ① 現在の医局・総務棟の駐車場及び、近年購入した元整形外科跡地に建築
- ② 病院とクリニックが一つの建物に同居する
- ③ 病院・クリニックの建物は4階建
 - 1階…病院外来機能
 - 2階…クリニック機能
 - 3階…病棟機能
 - 4階…その他
- ④ 病床数は60床から48床へと変更
- ⑤ 元整形外科建物を改築し、ケアセンターの建物とする

2 今後の大まかなスケジュール

- ① 2023年7月 配置計画の確定
- ② 2023年9月 耐震補助金申請



- ③ 2024年8月 補助金内示
- ④ 2024年9月 リニューアル着工
- ⑤ 2025年10月 病院・クリニック建築終了
- ⑥ 2025年12月 新病院・クリニック開設
- ⑦ 2026年9月 旧病院、クリニック解体、

3 建設地購入について

これまで以下に以下の土地・建物を購入し、建替時も医療・介護活動を中断することなくスムーズな移行ができるように進めていきます。

- ① 2021年7月 近隣にある元整形外科土地（503・93㎡、152・43坪）、建物（2階建、延べ床面積348・20㎡）
- ② 2021年8月 上記①の隣接地（105・85㎡、32・01坪）
- ③ 2022年7月 医局・総務棟建物および駐車場、クリニック横駐車場（1323・87㎡、400・48坪）

4 耐震診断について

リニユールを検討する中で、協立病院にリフォーム工事を実施する意見が出されました。リフォーム工事後、十数年病院を使用していく中で、地域動向や医療・介護情勢を踏まえて病院のリニユールを検討する意見です。そこで病院建物の状況を客観的に把握するために2022年7月に耐震診断を受審しました。結果、基準値（I s値0、4）を下回り、熊本地震同等規模の揺れを受けた場

合、建物は倒壊しないが、医療介護活動を維持できる可能性は低いという診断です。耐震診断を受けてリフォームではなくリニューアルを行う方向が示され、現在の検討へと至ります。

5 耐震補助金（医療施設等耐震整備事業）について
 上述の耐震基準値（Is値0.4）を下回る（ことと、第2次救急医療施設等に準ずることなどの要件を満たしていれば、建替の際に補助金が受けられる制度を利用する予定です。当院の補助額は2、2億円を見込んでいます。補助金申請からおよそ1年後に決定の内定ありますので、現在、補助金申請の準備で行政とのやり取りを進めています。

6 リニューアル後の医療・介護活動について

水俣市及び周辺地域は人口減少が今後も進むことが予想されています。2020年の1市2町（水俣市、芦北町、津奈木町）の人口は約44・000人ですが、2040年の人口は約29・000人となる見込みです。ただし、全国的に見ても、訪問診療と介護サービスのニーズは2040年がピークとされています。水俣市周辺も同様の動きとなっています。

リニューアルを検討するにあたって医療・介護のコンサルティングを受けており、病院の入院機能を維持しつつ、病院外での医療・介護活動をより旺盛に展開することで協立グループの区別化が図られると示唆を得ています。現在でも協立病院の訪問診療数は周辺地域の他医療機関より突出していることもわかりました。リニューアル後はより在宅医療・介護に注力することを大きな柱としていきます。グループ内部での連携、他機関の関係強化を目的とした調整や窓口のための新部署の設置も検討しているところ

周辺人口は減少するものの、65歳以上人口減少は緩やか



協立クリニックでは多様な精神疾患に応えることができている。周辺の精神科・心療科では新規患者が飽和状態とおり、今後も協立クリニックの役割が期待されています。リニューアル後は、通所リハビリテーションの拡充、労災患者さんの新規受け入れを行っていきます。

7 リニューアルにおける試算

建築費用が13・1億円（税抜）を試算されており、設計料や解体費も0・9億円の費用です。リニューアルに伴って什器購入や電子カルテの更新なども合わせて行う予定がありますし、建物の減価償却費も増加しますので、初年度は現在よりもグループ全体で0・7億円程度の費用の増加が見込まれます。

試算の段階では大きく赤字になる見込みはありませんが、赤字にはならない試算を見込んでいますし、償却前経常利益（減価償却費と経常利益を足した数値）は2023年度予算を超過する試算ができています。

8 医師の確保について

芳和会で常勤医師が43名在籍しています。法人内で40名を超えたことは初めてのことで、菊陽病院・精神科を中心に医師が増えています。一方で常勤医師年齢は高い現状が続いています。今後の事業継続・発展のために水俣グループにも30歳代、40歳代の医師を受け入れていきたいと思っています。新病院完成時には新しい建物と同時に新たな医師を迎え入れて「無差別・平等の医療と福祉の実現」に寄与していきます。

天草ふれあい クリニックス 院長就任挨拶

田嶋
剛



2023年7月より天草ふれあいクリニックスに赴任することになりました田嶋剛と申します。諸先輩方や地域の方々が築き上げてこられたものを、まずはしっかりと継承することが私の最初の任務です。

私の好きな言葉に「三方よし」というものがあります。近江商人の経営哲学で、売り手も買い手も満足し、社会貢献もできるのが良い商売であるとの考え方です。地域のかかりつけ医として信頼していただき、患者さんもスタッフも幸せになり、地域社会にも貢献できる、そんな「三方よし」なクリニックスを目標に全力で取り組んでいきたいと思えます。どうぞよろしく願いたします。

2022年度決算概要

芳和会本部 久保田 俊平

損益計算書(概要)

自2022年4月1日 至2023年3月31日

単位:千円

	実績	対前年増減	前年比
医業収益	5,873,617	197,609	103.5%
介護収益	443,189	15,855	103.7%
その他事業収益	33,712	△ 1,758	95.0%
事業収益	6,350,519	211,706	103.4%
人件費	4,341,905	△ 99,534	97.8%
材料費	633,724	44,780	107.6%
委託費	249,498	8,796	103.7%
経費	677,399	60,999	109.9%
減価償却費	231,793	4,944	102.2%
リース料	68,456	△ 16,665	80.4%
控除対象外消費税	151,104	9,144	106.4%
事業費用	6,353,882	12,464	100.2%
事業利益	△ 3,363	199,242	1.7%
事業外収益	378,063	21,272	106.0%
(うちコロナ関係補助金)	215,427	△ 3,986	98.2%
事業外費用	36,118	△ 4,267	89.4%
(うち支払利息)	20,596	△ 3,794	84.4%
経常利益	338,581	224,781	297.5%
特別利益	13,788	△ 71,878	16.1%
(うちコロナ関係補助金)	1,080	△ 78,281	1.4%
特別損失	190,296	97,280	204.6%
税引前当期純利益	162,074	55,624	152.3%
法人税等	421	55,624	100.0%
当期純利益	161,653	55,624	152.5%

1年間の経営成績を表す経常損益では、事業収益は前年比103.4%の63億51百万円でした。

事業外収益は3億78百万円を計上しその内2億15百万円はコロナ関係の補助金によるものでした。経常利益は前年比297.5%の3億38百万円(経常利益率5.3%)の黒字となり、結果、前年比で増収増益となりました。

特別損失1億90百万円の内、1億58百万円は職員への期末手当です。当期純利益は前年比57百万円増の1億62百万円の黒字となりました。

3病院(くわみず病院、菊陽病院、水俣協立病院)・5診療所(平和クリニック、くすのきクリニック、八代中央クリニック、神経内科リハビリテーション協立クリニック、天草ふれあいクリニック)は全て黒字(経常利益率0.2%~12.9%)を計上しました。

介護事業を中心とする八王寺の杜、ケアセンター協立の経営改善が求められています。

入院収益は前年比105.0%、外来収益は前年比102.3%でした。2022年度は新型コロナウイルス感染症の第8波が猛威をふるい、3病院でクラスターが発生しました。その他の事業所でも職員のコロナ発症、濃厚接触者としての自宅待機等、事業運営に大きな影響が出ましたが、職員の奮闘で乗り切ることが出来ました。

医師体制強化の動きとしては、2022年度は初期研修医1名(2年間は県外を中心に研修)、既卒医師1名(菊陽病院)の合計2名の受け入れが出来ました。2023年度は4月に初期研修医3名、既卒医師3名(全員菊陽病院)の計6名の受け入れもあり、医師数は精神科を中心に増えていることが大きな特徴となっています。

菊陽病院 2023年度 入職医師紹介

清水 進

熊本大学医学部卒業後、熊本保養院や、くわみず病院、菊陽病院で勤務していました。4月に菊陽病院へ戻ってくるまでには、天草にある重症心身障害児施設で15年勤務していました。しばらく救急の精神科からは離れていたのですが、皆さんに色々とお教わること多いと思います。よろしくお祈いします。

※写真左から宮尾医師、榎野医師、若山医師、清水医師

宮尾 昌幸

2023年1月から菊陽病院に勤務しています。熊本出身で宮崎医大を昭和56年に卒業し、熊大放射線科に入局、以来、30年余り熊本市内や八代の病院で画像診断医として勤務してきましたが、約9年前に荒尾の精神科病院に転科入職しました。前職は荒尾という地域性もあって、認知症や高齢者メインの診療に携わってきましたが、菊陽病院では本格的な精神疾患を診ることができ充実感を感じています。皆様よろしくお祈いします。



榎野 祥生

2001年に大学を卒業後、大学院への進学、形成外科専門医の取得等を行い、DMATの活動を通して救急医療にも携わるようになりました。一般病院では認知症を持つ高齢者への対応や希死念慮による薬物中毒、外傷のマネジメントに苦慮することが多く、菊陽病院で精神科の勉強をさせていただくことになりました。固い頭を柔らかくして頑張りますのでよろしくお祈い致します。

若山 裕梨

2021年に佐賀大学医学部を卒業し、熊本中央病院で2年間の臨床研修を終えました。将来は小児の精神疾患や発達障害を専門にしたいと思い、菊陽病院で精神科の勉強をさせていただくことになりました。至らぬ点が多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお祈いします。

医師紹介

熊本県民医連に所属し、県外プログラムで2年間の初期研修に取り組む3名の医師です。よろしく願いいたします。



荒木 さくら

こんにちは。1年目研修医の荒木さくらです。4月から宮崎生協病院で研修しています。出身は津町で大学は岡山大学に行っていました。

宮崎生協病院は宮崎市にあり、小児科の入院病棟もある124床の病院です。

スピードを迫られる場面が苦手、後からもっとこうできたら良かったと思うことが多いです。とは言っても、やるしかないものでどんなことも経験だと思っただけで日々学んでいます。

熊本に戻っての研修の際はよろしく願いします。



鋤先 駿也

沖縄協同病院で初期研修中の鋤先駿也と申します。

期待2不安8で始まった研修医生活はもう3ヶ月経とうとしています。今は期待1不安9になりましたが、周囲の先輩医師や9人の同期に支えられながら何とか日々の業務に食らいついております。

現在私は内科を回っており、机上で身につけた知識を臨床に応用する難しさを実感しています。今はまだ情報を整理するだけで手一杯ですが、治療方針を自分で立てられるよう努力していきます。

最後に、熊本での研修の際はご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



高橋 太朗

4月からくわみず病院で研修を行っております高橋太朗と申します。

大学時代に熊本県民医連の奨学生としてお世話になり、今年の春から研修医として鹿児島生協病院に入職いたしました。くわみず病院には6月までの導入期の3ヶ月間を過ごさせていただいております。

くわみず病院では研修医1名なので、はじめは少し寂しさを感じることもありましたが、

その分上級医の先生方に手厚く指導をいただいで、日々充実した研修ができています。まだまだ分からないことだらけで、多職種のスタッフの方に助けていただいている毎日ですが、担当した患者さんが元気になって退院される時はやはり嬉しく、やりがいを感じながら働かせていただいております。

7月から一度熊本を離れますが、来年もまたくわみず病院、菊陽病院でも研修する機会をいただけるので、パワーアップして帰って来られるよう頑張りたいと思います。

どうぞよろしく願いします。

TOPICS

カネミ油症未認定被害者対照地区 健康調査について

カネミ油症未認定被害者健康調査プロジェクトチーム 事務局長 田尻 崇

2017年3月に長崎県五島市奈留島でカネミ油症の未認定者50代～80代までの40名の健康調査を行いました。今回、対照調査の為に、2023年3月11日・12日に非汚染地区である熊本県在住の方を対象とした検診、「カネミ油症未認定被害者対照地区健康調査」を実施しました。受診者は熊本市内および周辺在住の友の会の会員さんや、現役職員、OBにもお願いし74名の検診を行うことができました。

熊本県連は2月の問診聞き取りにのべ32名、3月の検診はのべ71名のスタッフの協力がありました。検診スタッフは九沖の民医連へも協力要請し、2日間でのべ58名の方に来ていただき、九沖の団結を改めて肌で感じました。

カネミ油症は当初皮膚症状中心の誤った厳しい診断基準と、現在はダイオキシン血中濃度が重視され、これまで14,000人以上が申請していますが、2022年度末で2,367人しか認定されていません。今後の被害者救済の運動の足掛かりになる分析結果を出すことができたいと思います。



TOPICS

いよいよ判決、勝利判決の連弾で 「すべての水俣病被害者の救済」をめざしましょう!!

熊本県民医連（水俣病担当） 原田 敏郎

水俣病が公式に確認されたのは、1956（S31）年5月1日でした。あれから67年の歳月が流れました。しかし民医連（芳和会）が深くかかわるノーモア・ミナマタ訴訟（以下、ノーモア訴訟）を含めて9つの訴訟が係争中です。ノーモア訴訟原告たちの平均年齢は73才、提訴後に200人を超える被害者が判決を聞くことなくこの世を去りました。

ご承知の通り、ノーモア訴訟は熊本訴訟の他、東京訴訟、近畿訴訟、新潟訴訟で「すべての水俣病被害者の救済」をめざすたたかいが続いています。

4地裁の先陣を切って近畿訴訟の判決が9月27日と決まりました。判決日は決まっていますが、熊本訴訟は9月8日に1～2陣148人の、新潟訴訟も10月19日に1～4陣47人が結審を迎えます。

勝利判決の連弾で、判決対象になっていない原告とすべての水俣病被害者の救済をめざします。読者のみなさんのご支援をお願いします。



各地の原告数 ['23.03.31現在]

	熊本原告	東京原告	近畿原告	合計	新潟原告	総合計
1陣提訴	2013.06.20	2014.08.12	2014.09.29			
最終提訴	14陣22.06/29	07陣20.01/27	12陣19.02/26		19陣20.07/16	
原告数	1,415名	86名	130名	1,631名	150名	1,781名

TOPICS

75歳以上の医療費窓口2割化実施後 アンケート調査記者会見

熊本県民医連 田中 翔太郎

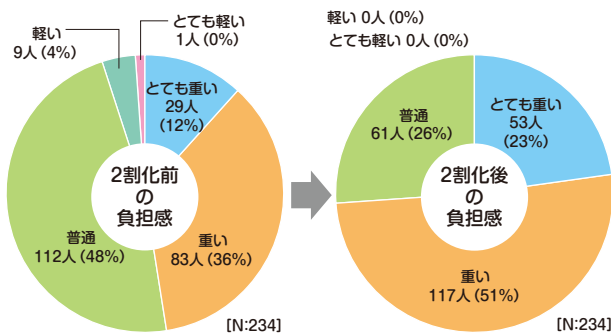
2022年10月から75歳以上の医療費窓口負担2割化が実施されたことを受け、熊本県民医連では芳和会の病院・クリニックにて「75歳以上医療費窓口負担2割化実施後アンケート調査」を2022年12月～2023年2月に取り組み、医療費の窓口負担の負担感及び受診抑制などの受療権への影響を調査しました。以下の結果と見解については7月10日に記者会見を行っています。

医療費の負担感を聞いた問いへの回答は234人のうち、2割化負担実施前の「かなり重い」「重い」合わせて112人(48%)でしたが、実施後は170人(75%)に急増。2割化による受診動向の変化についての問い(複数回答可)では、「今まで通り受診する」は179人(76%)にとどまり、そのうちの51人(22%)が同時に複数回答し、生活費や医療費を切り詰めたりしながらの受診であることがうかがえます。また、これまでと変わらぬ受診を続ける人は128人(55%)にとどまり、高齢者の受療権が脅かされている実態が明らかになりました。

アンケートの自由記載欄には、「大事な薬だけに受診を続けるしかない、切り詰めるしかない」「年金は減るし物価高でこれから先年金だけでは暮らしていけない」などの声が多く寄せられました。

お金でいのちをふりにかけるような制度はあってはなりません。高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳以上窓口負担2割負担は原則1割に戻すべきです。私たち民医連は現役世代も高齢者子どもたちもすべての人が安心して医療を受けられる社会の実現のためにたたかいます。

75歳以上で2割負担になった人の負担感



2割化負担実施前の「とても重い」「重い」合わせて48%が、実施後には75%に急増。軽いとの回答は0%となった。

TOPICS

「いのちのとりで熊本裁判」の経過と裁判支援

熊本県民医連 田中 翔太郎

国は2013年4月から3年間かけて生活扶助基準を平均6.5%、最大10%と史上最大の基準引き下げを行いました。「いのちのとりで裁判」ではこの基準引き下げの違法性を争い、1000人を超える原告が全国29地域で30の提訴をし、たたかわれています。

熊本地裁は2022年5月25日に原告勝訴の判決を下しました。当時熊本地裁の判決は地裁で2例目の判決でさらに、「デフレ調整」と「ゆがみ調整」の違法性を認める踏み込んだものとなっており、画期的な判決となりました。その熊本判決から「いのちのとりで裁判」の潮目が変わり、地裁11勝10敗、という状況になっています。被告の国や県が控訴し現在福岡高裁で裁判がたたかわれ5月7日に第3回目の口頭弁論が開かれ民医連から職員3名が参加しました。熊本県民医連は国民の生活基盤となっている生活保護基準の引き下げを許さず、憲法25条が定めた健康で文化的な最低限度の生活が権利として保障されるよう、裁判支援や学習を続けていきます。次回口頭弁論は9月25日に福岡高裁で開かれます。



- | | | |
|----------|--------|---|
| 2020年 6月 | 名古屋地裁 | × |
| 2021年 2月 | 大阪地裁 | ○ |
| 2021年 3月 | 札幌地裁 | × |
| 2021年 5月 | 福岡地裁 | × |
| 2021年 9月 | 京都地裁 | × |
| 2021年11月 | 金沢地裁 | × |
| 2021年12月 | 神戸地裁 | × |
| 2022年 3月 | 秋田地裁 | × |
| 2022年 5月 | 佐賀地裁 | × |
| 2022年 5月 | 熊本地裁 | ○ |
| 2022年 6月 | 東京地裁 | ○ |
| 2022年 7月 | 仙台地裁 | × |
| 2022年10月 | 横浜地裁 | ○ |
| 2023年 2月 | 宮崎地裁 | ○ |
| 2023年 3月 | 青森地裁 | ○ |
| 2023年 3月 | 和歌山地裁 | ○ |
| 2023年 3月 | さいたま地裁 | ○ |
| 2023年 4月 | 奈良地裁 | ○ |
| 2023年 4月 | 大津地裁 | × |
| 2023年 4月 | 大阪高裁 | × |
| 2023年 5月 | 千葉地裁 | ○ |
| 2023年 5月 | 静岡地裁 | ○ |

TOPICS

第40回くまもと健康まつりを開催しました

第40回くまもと健康まつり実行委員会 事務局長 井上 晋

5月14日(日)、4年ぶりの対面開催となった第40回くまもと健康まつりを健康商店街アーケード内で行いました。今年の第1回実行委員会を開いた時期は「コロナの判断基準が緩和されつつあり、社会的な感染対策も変化する中でした。しかし、ワクチン接種が進んだとはいえ医療従事者もスタッフとして多く参加する健康まつりでは「バザーはテイクアウト中心」「時間を短縮」「天候に左右されない会場」「公共交通の便がいいこと」などが意見として出され、健康商店街を会場とすることを決定しました。商店街とは何度も打ち合わせや下見を行い、あたらしい健康まつりの形を模索しました。当日は300名程度の来場を想定していましたが700名を越える参加があり、ステージでの託東太鼓や湖東中学校吹奏楽部の演奏をはじめ、バザーや健康相談、測定コーナー、木工教室、うたごえなど、実行委員各団体が知恵と工夫を持ち寄って作り上げた「まつり」を大いに楽しんでいただくことができました。



健康相談、測定コーナーには多くの列ができました



オープニングは託東太鼓のみなさんによる勇壮な演奏

TOPICS

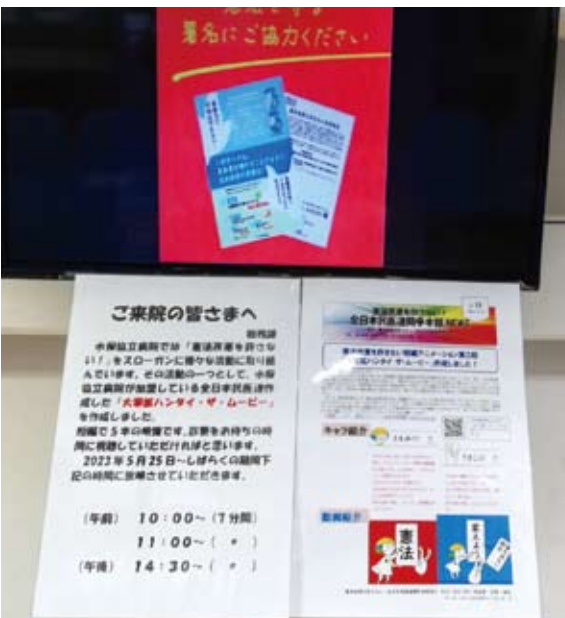
戦争を許さない努力こそ必要

熊本県民医連 事務局長 藤田 信二

今年の通常国会において、向こう5年間で43兆円の大軍拡の予算をねん出する軍拡財源法が成立しました。これは、安保3文書に基づく敵基地攻撃能力の保有のため、専守防衛を投げ捨てる憲法違反の政治をさらに押し進めるものですが、なによりも米国の意向に沿い、米国の軍事戦略・指揮権に組み込まれ、ふたたび日本中に戦火を呼び込むことが問題です。

そうした日本全土の戦場化を想定し、政府が全国の自衛隊施設の強靱(きょうじ)ん化を進めていることをご存じでしょうか。熊本県内においてはくわみず病院から東に2KMほどの場所にある陸上自衛隊健康駐屯地にある司令部を、相手から反撃されても耐え得るよう地下化するといふ、戦争する準備が具体的に私たちの目の前で行われようとしています。

引き続き、多くの個人・団体と手を結んで、署名はもとより世論を広げる活動を進めていきます。戦争の準備ではなく「平和の準備」を、の声をあげていきましょう。



水俣協立病院外来待合室のモニター
憲法をまもろうムービーを流しています

骨の話

水俣協立病院 吉本 和史

★検診とスクリーニングに用いられる骨密度の測定方法

かかとの骨に超音波を当て、骨の強さを測定する方法です。診断には使われませんが、検診などで骨折リスクを簡単にスクリーニングする方法として普及しています。結果は、若い人の平均値を100%とした時に、自分の骨の量が何%かで示されます。骨密度が若い人の80%未満になると要注意、70%以下まで減ると、骨粗しょう症の疑いがあることが分かります。

★骨粗しょう症とは？

骨の密度が低下して、骨折しやすくなる骨の病気を「骨粗しょう症」といいます。骨粗しょう症になる人の割合は年齢が高くなるほど上がり、50歳以上の女性の3人に1人が骨粗しょう症にかかりやすくなります。

骨粗しょう症により骨がもろくなると、つまずいて手や肘を着いた、くしゃみをした、などのわずかな衝撃で骨折してしまうことがあります。

★骨粗しょう症とうまく付き合うために日常生活で心がけたい5つのポイント

①カルシウムをたくさんとりましょう。

牛乳・チーズ・豆腐から1日に2品は食べましょう。

②適度な運動を心がけましょう。

医師に相談しながら、自分の体力・健康状態に合った軽い運動を続けましょう。

③転ばないように注意しましょう。

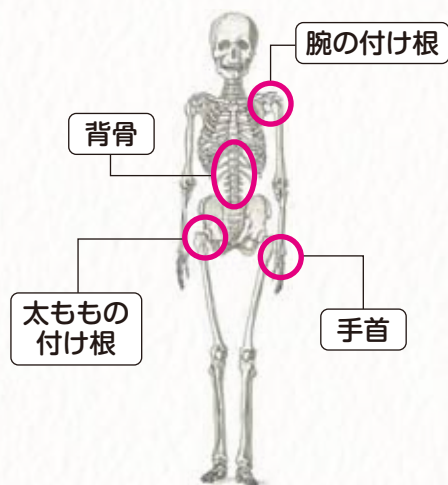
転倒は骨折の原因になります。動きやすい服装や靴を選び、段差などに気をつけましょう。

④お酒・たばこは控えましょう。

コーヒーは飲みすぎないようにしましょう。

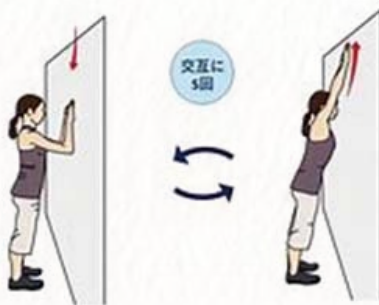
⑤ストレスをためず、リラックスした毎日を送るようにしましょう。

★骨折しやすい場所



※厚生労働省の調査によると、女性が要介護となる原因の第5位は「骨折・転倒」によるものとされています。

★骨粗しょう症体操



壁伝い背伸び体操

壁から20～30cm離れて立ち、壁に沿って両手を上に伸ばします。



骨盤前後傾体操

四つ這いや腹ばいで、腹筋・背筋を伸ばすようにストレッチします。



腰上げ腹筋体操

仰向けで足を少し開いて、両ひざを立てます。おへそと膝が一直線になるように。



足上げ腹筋体操

高く上げすぎないように、また、呼吸は止めないように足をゆっくり上げ下ろします。

「子どもリスペクト」を合言葉に、
歩みつつける

筆者が初めて本誌に登場したのは、芳和会が50周年を迎えた2001年の新年号「新春座談会」だったかと思います。そこには、「希望に満ちた21世紀を」展望して笑顔で語りあう故・樺島啓吉理事長を含む5人の姿が…。筆者の髪もヒゲも黒々としていました。しかし、その後の日本が「貧困と格差」のひろがる人権後進国になってしまったのはご存じのとおりです。

座談会で言及した医療・子育てに共通する「人権」と「共同」は、1998年の処女出版『子どもの中の力と希望』で論じたテーマでした。『いつでも元気』の99年10月号の巻頭エッセイでは「子どもと拓く21世紀」と題して、子どもの「未熟さイコール低級ではない」「子どもを『保護』と『教育』の目だけで見るのは間違いだ」「『子どもの権利条約』の子ども観がものをいう」と書き、「『子どもとともに』がパスワード」と結んだのでした。

それから20数年後の今年、『子どもリスペクトから始めよう!—子どもの権利が当たり前—』というささやかな本を出版しました（「権利」と「当たり前」は、英語では同じ“Right”です）。

「子どもリスペクト」は、定年退職した2019年の秋から山下が提唱している社会的ムーブメントです。その中核におくのは、子どもは「人として尊ばれる」「社会の一員として重んぜられる」と宣言したわが国の「児童憲章」（1952年）と、子どもを「権利の行使主体」と明確に規定した国連「子どもの権利条約」（1989年。日本は1994年に批准）です。あえて「リスペクト」という軽やかで今風な英語を使うことにしました—「尊敬」や「尊重」でなく。言いかえれば、それは「子どもをなめるな」「子どもを解放しよう」「子どもと友だちになろう」という呼びかけに他なりません。

「NPO法人 くまもと地域自治体研究所」のご支援をいただきながら、1年余の準備期間をへて、本年4月、「子どもリスペクト研究会」（略称「子リス研」）が発足し、7月現在で全国から50名が入会するに至っています。幸い、新刊拙著の売れ行きも好調です。これを読むと、みなさんのお子さん・お孫さん、地域の子どもたちがいっそうかわいく見えてくること間違いなし!

「子どもリスペクト運動」は、私のライフワークになりそうです。

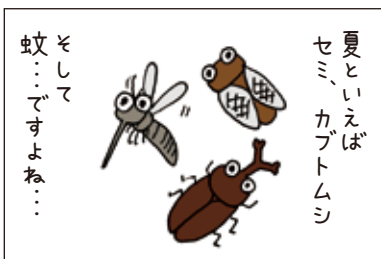
東海大学名誉教授
山下 雅彦



【プロフィール】
1953年、高知県生まれ。
子どもの権利条約市民・NGOの会共同代表。
日本子どもを守る会理事。
子どもリスペクト研究会会長。
元・くわみず病院建設委員長。
元・菊陽こころの健康友の会会長。

*新刊著書「子どもリスペクトから始めよう!—子どもの権利が当たり前の日常へ—」
（明誠書林、税込1,430円）

わたしの前世?



浦本一也 (あひ)

民医連 MIN-IREN

事業所紹介

私たち芳和会は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざします。

くわみず病院

熊本県熊本市中央区神水1丁目14-41 TEL096-381-2248



一般急性期44床、ハイケア8床、地域包括ケア病棟48床、救急告示病院、睡眠医療センター、女性医療センター、健診センター、在宅療養支援病院、歯科、通所リハビリテーション、臨床研修(協力型)病院、日本プライマリ・ケア学会認定施設、日本内科学会教育関連病院、保育所、無料低額診療事業等

菊陽病院

熊本県菊池郡菊陽町大字原水5587 TEL096-232-3171



精神315床、精神科救急医療実施病院、訪問看護ステーション、地域生活支援センター、デイ・ナイトケア、歯科、福祉ホーム、グループホーム、臨床研修(協力型)病院、依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関、保育所、無料低額診療事業等

水俣協立病院

熊本県水俣市桜井町2丁目2-12 TEL0966-63-1704



地域包括ケア病棟60床、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、日本プライマリ・ケア連合学会協力施設、総合診療研修連携施設、無料低額診療事業等

● 平和クリニック
TEL.096-371-4751

● くすのきクリニック
TEL.096-339-0187

● 八代中央クリニック
TEL.0965-32-8008

● 神経内科リハビリテーション協立クリニック
TEL.0966-63-6835

● 天草ふれあいクリニック
TEL.0969-24-1400

● サービス付高齢者向け住宅八王寺の杜
TEL.096-375-7124



無料法律相談のお知らせ

担当弁護士は熊本中央法律事務所の先生方です
ご希望の方は下記の連絡先までお電話ください

相談日	担当	相談日	担当
7月20日(木)	久保田 紗和	10月20日(金)	高島 周平
8月21日(月)	板井 俊介	11月20日(月)	久保田 紗和
9月20日(水)	石黒 大貴	12月20日(水)	板井 俊介

※担当弁護士が変更になる場合があります。予めご了承ください。
会場/くわみず病院別館 予約制/13:00~15:00
連絡先/芳和会本部人事総務部 TEL.096-381-5887
受付日/月曜日~金曜日

編集後記

芳和会だよりは127号を迎えました。記念すべき創刊号(第1号)は1982年3月5日です。当初は3ヵ月に1度のペースで発行されていました。現在は年に2回の発行となっています。

先日、2023年2月に亡くなった北岡秀郎さんを偲び語るつどいが開催されました。

北岡さんは水俣病問題やハンセン病問題、川辺川問題等の様々な取り組みを支えてきた方で、熊本県民医連の職員研修では何度もご講演いただいた方でした。この芳和会だよりの編纂にもご協力をいただいていた方であり感謝の念はたえません。ご冥福を祈ります。(K)